

令和6年度 愛国学園大学附属龍ヶ崎高等学校 学校評価

令和7年3月10日

令和6年度の本校の学校評価に関する資料の公開について

1 公開資料について

- (1) コース制を最大限の活かした学校目標
- (2) 授業者の自己評価アンケート結果
- (3) 生徒学校評価アンケート結果
- (4) 保護者学校評価アンケート結果
- (5) 生徒授業アンケート結果

2 第三者評価委員会の開催について

- (1) 開催日：令和7年3月8日（土）
- (2) 第三者評価委員構成（全員出席）

- ① 元公立高等学校長
- ② 元公立中学校長
- ③ 弁護士
- ④ 幼稚園園長
- ⑤ 市スポーツ少年団指導者

(3) 評価内容

- ① 学校目標等について
- ② 各種評価アンケート結果について
- ③ 第三者評価委員による評価について

- ア) 建学精神に基づいた本年度の達成目標等の設定についての自己評価について
- イ) 設定目標等の達成に向けた取り組み状況についての自己評価について
- ウ) 学校運営上の主な課題の把握について
- エ) 課題解決のための学校の改善方策について
- オ) その他

(4) 第三者評価委員による評価結果について

- ① 上記ア)～オ)の評価（A：妥当である B：おおむね妥当である C：あまり妥当でない D：妥当でない）について
 - ア) Aが5つ
 - イ) Aが5つ
 - ウ) Aが4つ Bが1つ
 - エ) Aが3つ Bが2つ
 - オ) 特になし

(5) 評価委員の意見

- ① 生徒一人ひとりを大切にしたい指導が良いと思った。教員から生徒への言葉掛けは、生徒本人の成長にとって大切なので実践して行ってほしい。愛国が現在取り組んでいることを、今後も粘り強く続けて行ってほしい。
- ② 現場の先生方は、働き方改革で限られた時間の中でどうにかやりくりして生徒と向き合っている。生徒の理解度が低い場合、教科指導をする先生方の工夫が必須なので、教員間のネットワークを駆使して先生方の方が変わっていく意識を持つべきだ。
- ③ 探究活動（特に龍ヶ崎コロッケ）が面白かった。わかり易い授業イコール生徒の学習定着度ではない点に留意してほしい。授業アンケートの質問項目に「生徒の理解度」を尋ねるものを付け加えるべきだ。先生方は、フォローの重要性を意識した教科指導に努めてほしい。
- ④ 自己肯定感を引き上げる指導を幼稚園でも心がけている。高校時代の職場体験は、生徒の進路を決める上で重要だ。どんどん実施してほしい。幼稚園教諭、保育士は不足している。保育・福祉コースに進む生徒を増やしてほしい。
- ⑤ 家庭環境に恵まれない生徒への対応は大変だろうと推察する。教育とは、人を創る活動である。学校教育の現場は、勉強の仕方を学ぶ場であり続けてほしい。